

「平佐東小学校の戸田観音棒踊り伝承活動の取組」

1. 学校名	薩摩川内市立平佐東小学校
2. 学年・人数	全校児童 26人
3. 日時・場所	(1) 練習の日時・場所 令和6年9月に7回実施（本校体育館） (2) 発表の日時・場所 令和6年9月22日（日） 秋期大運動会 平佐東小学校 体育館
4. 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能、伝統行事、伝統工芸品について	(1) 名称 戸田観音棒踊り（とだかんのんぼうおどり） (2) 由来 長禄3年(1459年)、祈答院渋谷九代領主徳重の愛娘が宮之城で船遊び中に川に落ち、三日後に戸田の淵に遺体が浮かんだ。徳重は娘の冥福を祈って観音様を置くとともに、これは河童の仕業だとして悪さをしないよう観音様の足元に河童の木像を置いた。その後、地域住民は水難よけ、無病息災、安産、馬頭観音としてあがめ、豊作祈願、農村慰安として棒踊りが行われるようになった。 (3) 構成等 戸田観音棒踊りは、かすりにたすきを掛け、手には六尺棒を持ち「オオセエロオオオ」の唄に合わせ、「イヤ、サッサッ」と打ち合い、地を突く勇壮な踊りである。以前は、棒踊り保存会による奉納行事が戸田神社で行われていた。
5. 文化財伝承・活用の取組において地域との連携や工夫した点等	児童数が減ってきており、低学年でも踊れるように振りを変えたり、棒を軽くしたりして工夫し、全校児童で踊っている。また、地域の伝統芸能を継承していく様子を地域の方々に知ってもらうため、毎年運動会の際に、棒踊り保存会の方々の協力についても学校だより（全戸配布）等で広報している。
6. 取組の様子（練習状況、発表の場等）	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>練習の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>秋季運動会で披露</p> </div> </div>
7. 感想・意見（参加児童生徒・保護者・保存会・教員等）	<p>【参加児童】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ さいしょはできなかったけど、おどれるようになってよかった。 ・ 平佐東地区の伝統ある踊りなので、自分たちがしっかり引き継ぎたい。 <p>【教職員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 郷土愛を育むためにもこの伝承活動は今後も継続したい。 <p>【保護者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平佐東地区の伝統芸能を子供たちが継承していく様子がとてもよかった。今後も続けていってほしい。 <p>【保存会・地域の方から】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子供たちは一生懸命踊ることができていた。子供たちにしっかり引き継ぐためにも、自分たちにできる協力はしっかりしていきたい。